

★★★★令和4年度 諸塚村 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(効果検証)

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 開始	事業 終了	決算額 (円)	うち臨時交付 金充当額 (円)	成果目標(可能な限り定量的)	地域住民への周知方 法(HP,広報紙な ど)	事業実績	効果検証	主な理由	担当課
					89,659,124	71,361,350						
1	諸塚村特別 定額給付金 事業	①新型コロナウイルス等の影響による原油価格、物価高騰に直面する村民への緊急生活支援を目的として迅速に対応するため低所得者に対し特別定額給付金を支給する。 ②対象:特別定額給付金13,800千円+通信運搬費90千円 対象外:給付金1,500千円+通信運搬費10千円 ③給付金10,000円×1,530名 郵送料 ④R4.5.1時点で諸塚村に住居基本台帳に記載されている低所得者(所得が280万円以下)	R4.6.22	R4.8.26	14,916,260	13,210,000	給付金額の85%以上を原油価格・物価高騰対策に活用	広報紙にて周知	村特定定額給付金 1,481名×10,000円=14,810,000円 申請返信用切手84円×700枚= 58,800円 申請書等郵便代6月分 47,460円	かなり効果があった	給付金用途に関するアンケートの結果、物価高騰対策として48.84%、原油価格高騰対策として41.66%の給付金を活用しており、給付金額の90.50%が、給付目的に見合った効果があったと考えられる。	総務課
2	体験型観光 リモート化 継続事業	①新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、諸塚村の観光の主力である体験型観光を、これまでの団体による現地体験型から、少人数限定による催行に切り替え、量より質を徹底する。動画撮影等のネット配信による仮想体験を組み込み、編集機能の強化やHPの充実を図り、情報発信力を高め、広く顧客層を広げ、長期的に持続可能な、新たな体験型観光の定着・普及を図る。新たな生活様式を定着させるため、継続して事業を推進する ②少人数体験モデルツアーの催行、動画撮影・音声収録の機材充実、撮影収録・編集委託、情報発信サイト運営、広告宣伝に充当 ③委託費:4,000千円 (実証ツアー、動画機材、撮影編集費、サイト運営・広報宣伝) ④一般社団法人諸塚村観光協会	R4.4.1	R5.3.31	3,960,000	3,960,000	オンラインツアー開催:4回 動画制作+公開:10本 ネット投稿記事:10本	村観光協会HPでの周知	オンライン型体験交流推進事業委託 3,980,645円 (内訳:事務経費3,300千円、備品購入費432千円、消耗品費151千円、手数料68千円、体験謝礼23千円、研修費5千円)	かなり効果があった	オンラインツアー開催:4回 動画制作+公開:14本 ネット投稿記事:16本 コロナ禍で従来の現地滞在型のツアーの実施が困難であったが、ネット配信を利用した新たなツアー造成が確立し、新規の顧客獲得に繋がった。	企画課
3	農産加工品 運搬販売向 け商品開発 継続事業	①新型コロナウイルス等の影響により雑草等の地場の農産物は従来の主力である量販店や飲食店の需要減の影響が続いている。新しい生活様式が浸透する中で販路の異なる通信販売向けの6次産業化商品を開発し、新たな販路の開拓を継続する。 ②商品開発委託費に充当 ③補助金:5,820千円 (訳:経費1,500千円、商品デザイン500千円、販売促進2,050千円、事務運営700千円、機械導入費1,070千円、成分調査2,530千円) ④諸塚村特産品開発協議会	R4.4.1	R5.3.31	8,350	8,350	開発商品数3アイテム 販売専用サイト開設	HPでの周知	しいたけ等成分分析調査業務補助 2,156,000円 内訳:旅費142,000円、消耗品2,014,000円 しいたけ加工商品開発事業 3,644,015円 内訳:備品購入450,000円、販路開拓(旅費)38,960円、パッケージデザイン制作委託1,899,999円、村内加工グループ補助金(昇降機修繕)957,000円、消耗品267,466円	かなり効果があった	・成分調査事業 諸塚村の主力特産物である乾し椎茸に関して、コロナ禍での新たな需要と今後の食生活に対応した商品の企画・製造を実施した。また、椎茸の成分調査を実施し、栄養成分という新たな視点から販売の促進に繋げた。 ・加工商品開発事業 開発商品数3アイテム 販売専用サイト開設 昨年度に完成した商品の生産体制の構築及び販路開拓、新規のHPを開設した。また、新たな商品開発に向けパッケージデザインを委託した。	企画課
4	復興割引商 品券販売事 業	①新型コロナウイルス等の影響を受けた地元商店街に対し、地域商店街支援商品券の発行を支援し、経済の活性化と商店街の利用促進を図る。 ②商品券の割引費助成に充当 ③商品券助成額:商品券半額25,000千円×割引率40% =10,000千円 事務費:商工会委託料 1,000千円 (Dその他は県補助金) ④村商工会	R4.6.7	R5.2.28	11,000,000	6,000,000	商品券販売率100% 同 利用率95%	・公民館長会・防災無 縁・村独自放送で周 知 ・村内全戸ヘテラン配 布	令和4年度割引商品券発行事業補助金 11,000,000円	かなり効果があった	コロナ禍で衰退していた村内事業者の活性化に大いに貢献し、コロナ禍を起因とする村内事業者の廃業・休業が全くなかった。 商品券販売率100%、利用率98.8%。	企画課
5	コロナ対策 イベント 推進事業	①従来の村主催のイベントをリモートおよびキャンペーンによる長中期の催行に切り替え、密を避けた分散型の集客により、コロナ禍でも継続できる地域振興事業のモデルとする。リモートや動画配信などの最新技術を導入しつつ、情報発信力を高め、ネットによる顧客層を広げ、長期的に持続可能な、新たな生活様式に合わせた事業とする。村長文化祭、諸塚山開きほか ②アプリ活用、動画サイト活用、撮影収録・編集委託、情報発信サイト運営、広告宣伝に充当 ③報償費、消耗品、委託料、賃借料、補助金 ④諸塚村	R4.4.1	R5.3.31	11,868,968	7,176,000	活用イベント3件 参加数300人	【文化祭】 ・公民館長会・防災無 縁・村独自放送で周 知 ・村内全戸ヘテラン配 布 ・ステージイベントは 村独自放送で同時中 継	文化祭報償費・ゲスト招聘・作品展示出品賞品ほか 6,166,740円 文化祭消耗品ほか 1,319,393円 出演者弁当代 8,500円 スタジャンへのほりクリーニング代 17,500円 駐車場誘導、作品展示物管理他 168,495円 ステージイベント関係、バス送迎ほか 1,704,340円 38回山開き新聞広告料 334,000円 令和4年度諸塚村観光協会事業補助 2,150,000円	かなり効果があった	【文化祭】 感染拡大防止のため、村民限定や分散開催としたが、ステージイベントだけでなく村民の文化創作活動の展示の場も設けた。長年村民が参加する村内最大イベントとして定着してきただけに、参加者からは大好評を得た。村商工会と連携し抽選会の賞品等を村内事業所の商品や商品券としたことで村内の消費喚起にもつながった。 活用イベント 3件 参加人数 1,321人	企画課
6	雑草生産者 支援事業	①新型コロナウイルス等の影響により雑草価格が下落しているため、雑草の選別・原木の調達、理駒の購入に係る経費への支援を行い、地域産業の振興を図る。 ②雑草選別の助成に充当 ③選別料補助:5,000千円×80% 原木補助:自家原木170,000本×40円 購入原木15m3以上購入14,760千円×50% 15m3未満購入3,690千円×30% 理駒補助:10万個以上購入10,200千円×50% 5万個以上10万個未満購入5,100千円×45% 2万個以上5万個未満購入5,780千円×40% 1万個以上2万個未満購入680千円×30% ④対象となる事業主(雑草生産者)	R5.2.21	R5.3.31	16,439,397	11,041,000	植菌量の維持(R3:5,233千個) 平均単価の維持(R3:3,323円) (諸塚支店入札・共選単価)	産業部長会、公民館 長会での周知	選別補助(86名) 3,049,317円 原木購入補助(25名) 5,801,000円 原木補助(21名) 1,452,080円 理駒購入補助(68名) 6,137,000円	やや効果があった	植菌量(R4:480万)については若干の減少傾向にあるが、平均単価(4,216円)については維持できた。	産業課

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的、効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 初期	事業 終期	決算額 (円)	つち臨時交付 金充当額 (円)	成果目標（可能な限り定量的）	地域住民への周知方 法（HP、広報紙な ど）	事業実績	効果検証	主な理由	担当課
7	バス乗車料 金助成事業	①新型コロナウイルスの影響により外出を控えていた交通弱者 に対する経済対策・生活における足の確保 ②路線バスの乗車料金の一部無償化 ③路線バス：#52,917円/月×12月 ④70歳以上高齢者及び障がい者等	R4.4.1	R5.3.3	601,620	600,000	○利用促進 ・年間運行回数：550回 ・利用延べ人数：1,500名 ・平均乗車人数：2.7人/台	広報チラシ、高齢者 向けアンケートでの 周知など	ふれあいタクシー業務委託料 （4月～2月分 運行日数547日） 601,620円	効果があった	・年間運行回数：597回 ・利用延べ人数：1,629名 ・平均乗車人数：2.73人/台 コロナ禍における高齢者世帯の経済負担 軽減、および適度な外出手段確保による ライフバランスに維持につながったと判断 する（アンケートによる利用者の反響あり）	住民福祉課
8	高齢者生活 安全対策事 業	①新型コロナウイルス感染症予防として外出を控える高齢者の生活 環境（熱中症等）の安全対策設備として空調設備の設置助成 する。 ②高齢者独居家庭へのIoT設備設置経費の一部助成 ③上限#90,000円×80%×10世帯 ④70歳以上高齢者独居及び高齢者のみ世帯	R4.6.15	R4.9.16	275,664	275,000	・対象世帯95%の設置	広報誌にて周知	令和4年度高齢者世帯エアコン設置事業 （4名） 275,664円	効果があった	・対象世帯100%の設置 R4対象世帯＝高齢者世帯22世帯＝設置 者無し18世帯＝4世帯 対象世帯4世帯に対して全世帯設置済み （100%） 高齢者の熱中症等の予防として効果が あったと判断する。	住民福祉課
9	保育所給食 費無償化事 業	№9と№10は同事業、国のR4予算分 ①新型コロナウイルス等の影響による物価高騰対策及び子育て 支援として園児の給食費を無償化し、給食材料経費を村が負 担する。 ②保育所給食材料経費 ③園児25名×12月 ④諸塚村立諸塚保育所	R4.4.4	R5.3.31	1,852,087	1,852,000	・エネルギー栄養確保 460cal/食	広報誌にて周知 対象となる保護者には 個別に通知	米代 24,360円 粉ミルク 27,063円 干し椎茸 5,400円 ゆで竹の子 500円 その他の食材 1,632,521円	かなり効果があった	エネルギー栄養確保 491cal/食 コロナ禍における子育て世帯の負担軽減 につながった。また保育所で提供する給 食の質を落とすことなく、児童たちに必要な 栄養価のある給食を提供することができ た。	住民福祉課
10												
11	保育所感染 防止強化事 業	①保育所の新型コロナウイルス等感染症予防対策を目的として、 感染予防に必要な消耗品を購入する。 ②保育所各種感染予防消耗品購入経費 ③定額300,000円 ④諸塚村立諸塚保育所	R4.4.27	R4.12.6	326,234	326,000	・感染者0	保護者会にて周知	保育所感染防止消耗品等 326,234円	効果があった	購入した消毒液等で、口回から感染予防 対策をとることができた。所内の感染を防 ぐことはできなかったが、感染者が発生し た際に即座に消毒等の対応ができた。	住民福祉課
12	子ども医療 費助成事業	①新型コロナウイルス感染症を含む子ども医療費への経済的負 担軽減 ②15歳以下の園児・児童・生徒に対する医療費完全無償化 ③15歳以下の園児・児童・生徒91名 ④乳幼児～15歳までの園児・児童・生徒	R4.4	R5.3	3,196,936	3,196,000	・村内診療所かかりつけ推進 利用者数の増。前年度比 20%UP	広報誌にて周知 対象となる保護者には 個別に通知	子ども医療診療報酬 3,158,862円 子ども医療費助成（4名） 38,074円	かなり効果があった	子育て世帯の負担軽減につながった。経 済面での安診控えも解消されたと思われ る。診療所における検査体制の整備もあ り、村内診療所利用者も増えた。	住民福祉課
13	3歳児眼科 検査用医用 機器導入事 業	①新型コロナウイルス感染症の影響により村外の眼科検査機関 が健診を実施できなかったため検査機器を導入し検査体制を 整える。 ②3歳児眼科検査用医用機器導入経費 ③定額1,320,000円 ④諸塚村	R4.4.18	R4.5.19	1,248,500	1,248,000	・眼科検査機器購入 0台→1台	健診の際の個別通知 による案内	スポーツビジョンスクリーナー3歳児眼科検査用 1基 1,248,500円	効果があった	眼科検査機器購入1台 ・機器導入により、スクリーニングのため に病院に行く必要がなくなったため、多人 数の場における感染のリスクが回避でき たことから、幼児及び保護者が安心して 受検でき、新型コロナウイルス感染症予防として の効果があったと判断する。	住民福祉課
14	特老施設感 染予防対策 事業	①特老施設における入浴時の新型コロナウイルス感染症等の感 染予防対策として特殊浴槽、移乗用リフトの導入の支援を行 う。 ②特浴槽チャージンバス、移乗用リフト導入経費 ③定額6,215,000円 ④諸塚村社会福祉協議会：特別養護老人ホームせせらぎの里	R4.11.18	R5.2.15	6,876,200	6,876,000	・特浴槽購入 0台→1台 ・移乗用リフト 0台→1台		せせらぎの里シャワー型特殊入浴機器他1式 5,676,000円 移乗用リフト2台、スリング4枚 1,200,200円	効果があった	・特浴槽購入1台 ・移乗用リフト1台 感染防止対策として、入浴サービスにお いて密接した介助を軽減できる備品を導入 することで、利用者も職員もより安心し てサービス提供できる環境を整備でき た。	住民福祉課
15	歯科施設院 内感染予防 機器導入事 業	①歯科医療機関における新型コロナウイルス感染症等の感染 予防対策の備品購入 ②空気清浄機導入経費 ③定額117,000円 ④諸塚村	R4.4.8	R4.5.27	71,280	71,000	・空気清浄機購入 0台→1台		歯科設置加温空気清浄機 71,280円	効果があった	空気清浄機購入1台 治療時間の換気が行いつづいた職場環境 であり、空気清浄機の設置により、診療を 継続しながら感染防止対策を実施するこ とが可能となった。	住民福祉課
16	学校保健特 別対策事業 費補助金	(感染症対策等支援事業費) ①小中学校児童生徒の安心安全な学習環境の確保を目的と して、新型コロナウイルス感染症等の感染防止に必要な消耗品等 を充実させる。 ②感染症対策に係る消耗品・備品等の購入経費 ③学校あたり900,000円×3校 ④諸塚村	R5.3.1	R5.3.31	2,703,410	1,350,000	新型コロナウイルス感染症の感 染者数 前年度比80%	学校を通じて保護者 へ通知	・諸塚中学校 消耗品費405,878円、備品495,330円、計901,208円 （備品内容：※）トイレットペーパー×6台、空気清浄機×1台） ・荒谷小学校 消耗品費433,510円、備品467,060円、計900,570円 （備品内容：※）トイレットペーパー×3台、空気清浄機×2台） ・諸塚小学校 消耗品費258,572円、備品643,060円、計901,632円 （備品内容：※）トイレットペーパー×2台、空気清浄機×5台） ・3校計 消耗品費1,097,960円、備品1,605,450円、計2,703,410円	効果があった	新型コロナウイルス感染症の感染者数 前年度 0名 4年度 49名 消毒液やスポットクリーナー等を整備し、安 心な学習環境づくりを貢献できた。 成果目標は達成できなかったが、事業の 実施により最低限の感染者数に留めるこ とができたと認識している。	教育委員会
17	教育支援体 制整備事業 費交付金	(感染症対策等支援事業費) ①幼稚園児童の安心安全な学習環境の確保を目的として、感染 防止に必要な消耗品等を充実させる。 ②感染症対策に係る消耗品・備品等の購入経費 ③1施設あたり500,000円×1園＝185,000円（前年度交付決定額） ④諸塚村	R5.1.19	R5.2.10	279,752	140,000	新型コロナウイルス感染症の感 染者数 前年度比80%	幼稚園を通じて保護 者へ通知	ビニール手袋、アルコール消毒液、備品代 27,192+39,358+252,560=319,110円	効果があった	新型コロナウイルス感染症の感染者数 前年度 0名 4年度 16名 おもちゃの殺菌庫等を整備したことによ り、安心な園生活を確保することができ た。 成果目標は達成できなかったが、事業の 実施により最低限の感染者数に留めるこ とができたと認識している。	教育委員会

No.	交付対象事業の名称	事業の計画概要 ①目的、効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 初期	事業 終期	決算額 （円）	つち臨時交付 金充当額 （円）	成果目標（可能な限り定量的）	地域住民への周知方 法（HP、広報紙な ど）	事業実績	効果検証	主な理由	担当課
18	社会教育施設感染予防対策事業	①安心安全な施設利用のための施設整備として、新型コロナウイルス感染症等の感染防止に必要なスペース確保が容易にレイアウトできる形状で、また最小限の接触で折り畳みできるワンタッチレバーのついた可動式テーブルと軽量の椅子の設置を行う。また、多くの方が利用するトイレにおける感染拡大を防止するための衛生消耗品を設置し、安心安全な施設利用を確保する。 ②感染症対策に係る消耗品・備品の導入経費 ③（中央公民館） 折り畳みテーブル 16台 ミーティングチェア 48脚 椅子用台車 1台 便座除菌用ディスペンサー 8個 便座除菌クリーナー液 4個 （合宿舎「六峰館」） 折り畳みテーブル 3台 折り畳みテーブル 3台 食堂用椅子 30脚 ④諸塚村中央公民館、合宿所「六峰館」	R4.10.18	R5.3.31	2,907,960	2,907,000	（中央公民館） 可動式折り畳みテーブル0台→16台 軽量ミーティングチェア 0脚→48脚 椅子用台車0台→1台 便座除菌用ディスペンサー設置（新規） （六峰館） 可動式折り畳みテーブル0台→6台 軽量ミーティングチェア 0脚→30脚	村報において紹介した。	（中央公民館） 可動式折り畳みテーブル 18台 軽量ミーティングチェア 52脚 椅子用台車3台 備品購入費 1,807,740円 （六峰館） 可動式折り畳みテーブル 6台 軽量ミーティングチェア 35脚 備品購入費 1,100,220円 合計 2,907,960円	かなり効果があった	（中央公民館） 可動式折り畳みテーブル16台 軽量ミーティングチェア48脚 椅子用台車1台 便座除菌用ディスペンサー設置8台 （六峰館） 可動式折り畳みテーブル6台 軽量ミーティングチェア30脚 移動が容易なテーブルと椅子の導入によりレイアウトが自在になったことで、コロナ禍においても様々な会議やワークショップ等の開催が可能となった。また多くの人々が利用する公共施設に便座除菌ディスペンサーを設置したことにより、コロナの感染予防だけでなく他の感染症予防や衛生管理の観点から安心して利用していただけるようになった。	教育委員会
19	医療提供体制等構築事業（国民健康保険診療棟診療所繰出事業）	①新型コロナウイルス感染症等の対応として必要となる医療提供体制等の構築のため、必要な医療機器を整備する ②医療機器を購入するための経費として国民健康保険診療棟診療所へ繰出 ③輸液ポンプ 2台 電動ベッド 2台 ④国民健康保険診療棟診療所	R4.6.6	R5.3.1	734,800	734,000	輸液ポンプ 現在10台→12台 電動ベッド 現在11台→13台	HP	輸液ポンプ2台 352,000円 電動ベッド2台 382,800円	かなり効果があった	輸液ポンプ 12台 電動ベッド 13台 新型コロナウイルス感染症患者の外来及び入院治療対応をすることができたため効果があったと判断した。	診療所
20												
21	地域公共交通事業者燃油価格高騰対策事業	①新型コロナウイルス等の影響による原油価格高騰に直面する地域公共交通事業者（路線バス運行事業者）への緊急経済支援を目的として、燃料費を補助する。 ②燃料に対する事業者への補助金 ③マイクロバス平均燃費5.0km/L、令和3年度路線バス運行距離84,000km、軽油価格（前年度比差額）25円/Lを基に、 84,000/5.0×25=420,000円 ④有限会社 諸塚交通	R4.12.13	R4.12.21	420,000	420,000	運行回数昨年比 100.0%で、地域住民の生活における移動手段の確保・安定、公共交通機関の維持を図る。	対象事業者へ通知	燃油高騰支援補助金 420,000円	期待するほどの効果は得られなかった	運行回数昨年比 75% 住民の移動手段の確保等のために行った支援策であったが、9月の台風14号により被災した路線の運行回数が大きく減少し、前年度比25%減という結果となった。	総務課
22	肉用牛生産者飼料価格高騰対策事業	①コロナ禍において肉用牛飼育における飼料が高騰し、畜産農家の経営増やゼリ市での子牛売買価格の低下等影響が出ているため、本事業を活用し畜産農家の経営安定を図る。 ②飼料高騰に対する補助金 ③母牛222頭×22,800円 子牛126頭×15,600円（単価は年間飼養費用増額分の60%、R4.12月時点で計算） ④畜産（肉用牛繁殖）農家	R4.12.9	R4.12.28	7,027,200	7,027,000	母牛頭数の維持増進 母牛220頭	対象農家に対し個別巡回を行うことで周知	肉用牛生産者飼料価格高騰支援（18名、1事業所） 7,027,200円	効果があった	前年度（R3）と比較して、農家戸数（20→19）、母牛頭数（221→210）、導入頭数（17→13）は減少したが、1戸当たりの母牛の平均飼養頭数は、11頭を維持することができている。	産業課
23	特用林産物生産資材価格高騰対策事業	①コロナ禍において、原油価格及び資材価格等の高騰により影響を受けている椎茸生産者に対し、影響緩和のための支援を行い経営の安定を図る。 ②資材等高騰に対する補助金 ③乾椎茸 104円/kg 生椎茸 25.5円/kg 菌床椎茸 210円/kg ④椎茸生産者	R5.3.17	R5.3.31	1,736,506	1,736,000	椎茸生産量の維持増進 34トン	椎茸支部長会での周知	価格高騰支援（110名） 1,736,506円	やや効果があった	椎茸生産量の維持ができた。（日向農協諸塚支店販売実績R4.34.5t乾、原木生、菌床生）	産業課
24	園芸作物等生産資材価格高騰対策事業	①コロナ禍において、原油価格及び資材価格等の高騰により影響を受けている園芸作物等生産者に対し、影響緩和のための支援を行い経営の安定を図る。 ②資材等高騰に対する補助金 ③野菜・花卉・果樹・茶の生産に係る資材等経費について、R3年度からの物価上昇率を用いて積算 R3年度の資材等購入費総額・A 物価上昇率：1.24 B 補助率：100% C ↑(A×B)-A)×C ④園芸作物等生産者	R5.2.17	R5.3.31	1,208,000	1,208,000	園芸作物等生産量の維持増進 *野菜 54トン *花卉 101,000本 *果樹 1.7トン *生茶 50トン	園芸作物生産者及び茶園農家へ個別に文書交付	園芸作物等生産資材価格高騰対策支援（21名） 1,208,000円	やや効果があった	すべての品目ではないが、概ね園芸作物生産量の維持もしくは増進はできた。 *野菜 63トン *花卉 104,000本 *果樹 1.4トン *生茶 49.8トン	産業課